2021年度03月 Pre_Unity講座

Pre授業

講師:幸田 将伍 (@MagurodonDev)

自己紹介

名前:幸田 将伍(コウタ ショウゴ)

● 年齢:32歳

● 職業: Unityエンジニア (クライアントエンジニア)

趣味:釣り、カラオケ、絵を描くこと、プログラム

技術セミナーで知見を深めること

• 興味:Live2Dで描いた絵を動かすこと

● ARやVR、MR等の拡張現実の可能性

• UnityのTimelineを使った動画作成

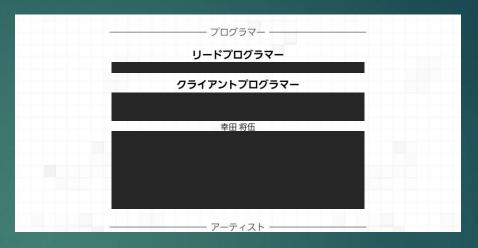
● 好き:マグロ丼、Dir en grey

嫌い:面倒くさいこと



制作に関わったゲーム









その他、載せられないものも含めてゲーム開発や制作補助などに従事しています

What is Unity?

Unityの活用事例 ゲームでの活用事例

- ▶ Unityはゲーム開発の民主化を目指したゲームエンジンです
- ▶ スマートフォン(ios,Android)、Steam、PS4やNintendo Switch等、マルチプラットフォームでの開発が可能です
- ▶ ノンコーディングでもゲームの開発が可能です
- ▶ しかし、ある程度複雑な作りやルールをゲームで使いたいの ならば、コーディングは避けられません
- ▶ 開発に必要な言語はC#(.NetCore4.X)です
- ▶ 講座ではC#の基本的な知識、応用的なデザインパターン、問題解決にむけた思考方法などが学べます





Unityの活用事例 AR,VR,MR方面での活用事例

- ▶ UnityではARやVR、MRの開発が可能です
- ▶ UnityはVuforiaやArKit等、ARに必要な様々なプラグインを 導入することにより、だれでも気軽にARアプリを作成するこ とが可能です
- ▶ VRに関してもUnity VRを使用すれば外部プラグインを使わずに、直接Oculus等のVRデバイスをターゲットに開発を行うことが可能です
- MRに関してはMicroSoftが主導して進めているHoloLens向け アプリの作成にもUnityは活用できます
- ▶ 講座では強い要望がない限り、こちらについての講義は行いませんが、関連記事を読めば個人でもAR,VR,MRの作成をすることが可能です





Unityの活用事例 映像での活用事例

- ▶ Unityでは、そのレンダリング能力の高さから映像作品での活用事例も増えてきています
- ▶ 近年ではライオンキングがUnityVRを活用した撮影方法だったのは有名ですね。
- ▶ また、アニメ業界ではドラゴンボールの映画やプリキュアの ED等もUnityを活用して映像を仕上げています
- ▶ 本講座ではTimelineというUnityの機能を使い、ゲーム開始時のアニメーションを作る授業などを行います
- ▶ また、レンダリングとシェーダーはセットで考えるものですが、本講座ではUnityの使い方から逸脱するのでシェーダーの書き方等は教えません





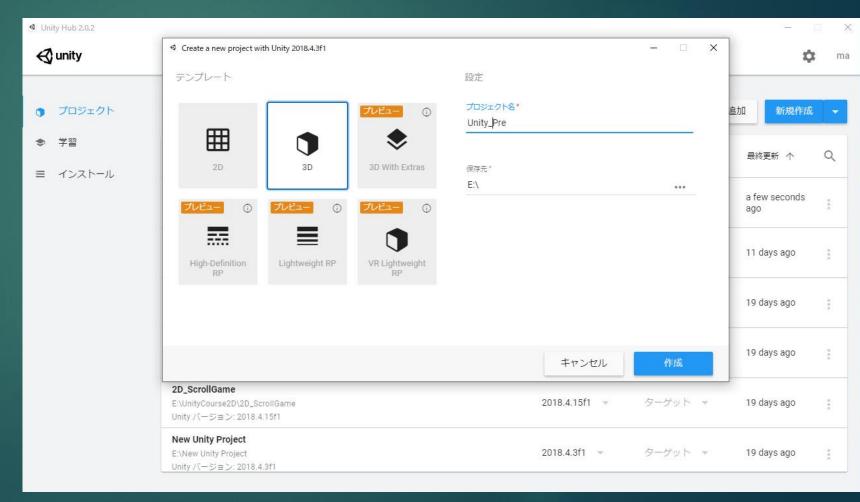
Unityの活用事例 Youtubeでの活用事例

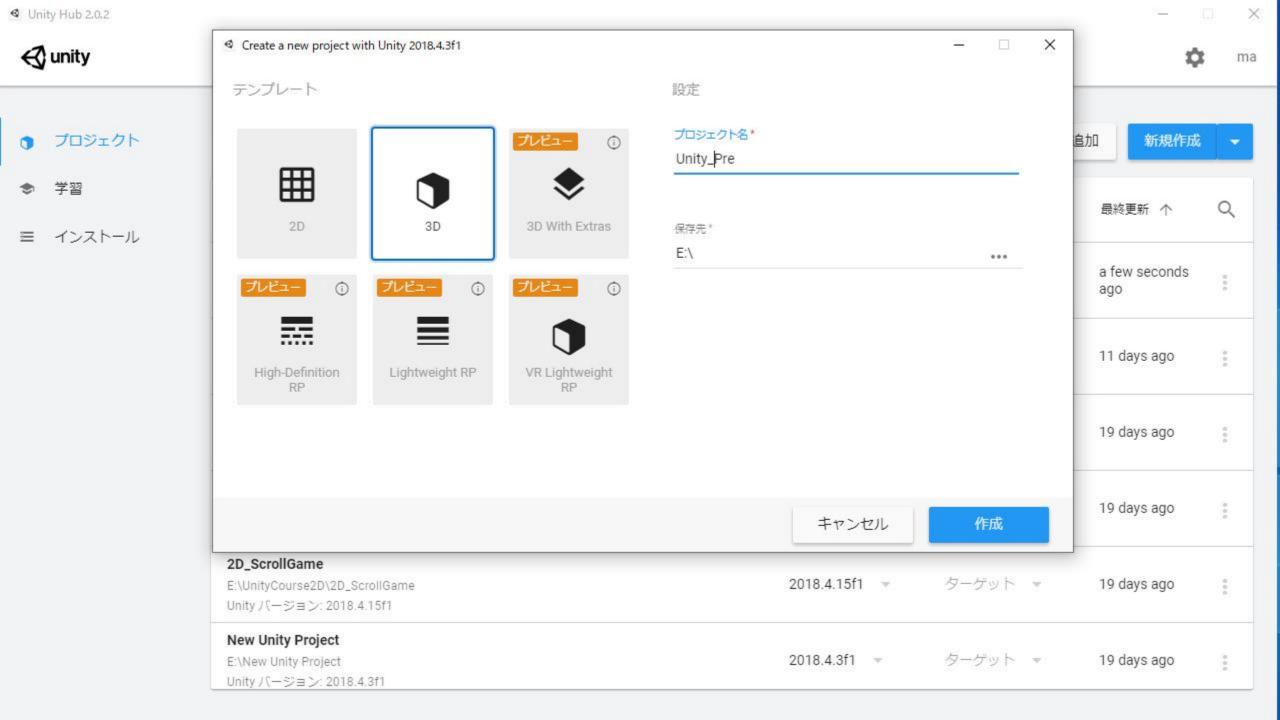
- ▶ 分かりやすい事例でいうと、Vtuberの方などがUnityを使って3Dモデルのトラッキングを行っております。
- ▶ Unity製のアプリケーションがそれに対して大きな貢献をしています。
- ▶ Vroidや3teneなどのソフトウェアですね。
- ▶ ほかにはUnityを用いたVFXや、Unityでの動画編集などを 行っているYoutuberの方などもおられます。



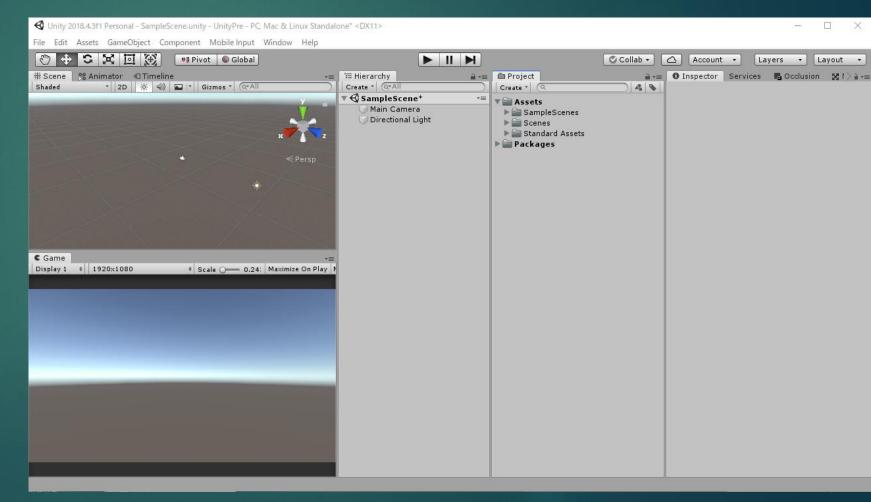
Unityで作る3Dゲーム

- ▶ 早速3Dアクションゲームを作成 していきます
- キャラクターを移動したり、 ジャンプしたりさせていきま しょう
- ▶ UnityHubを開き、新規作成から テンプレートを3Dにしてプロ ジェクト名を[Unity_pre]として 作成しましょう



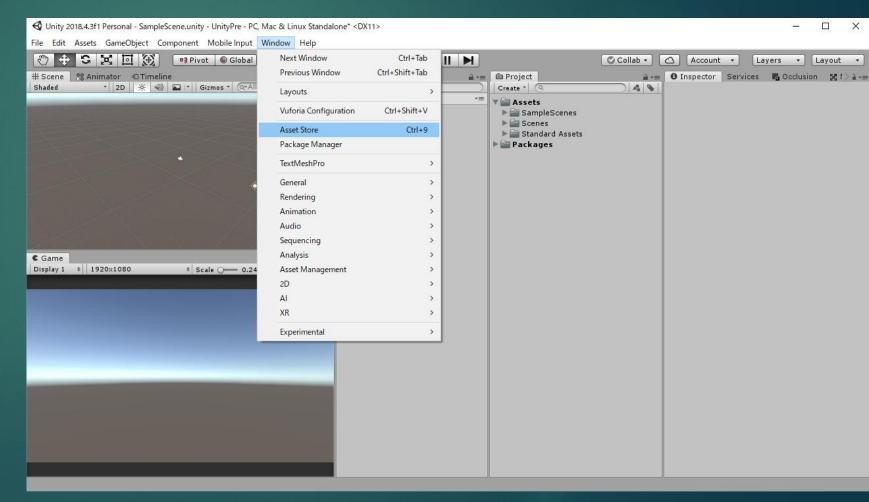


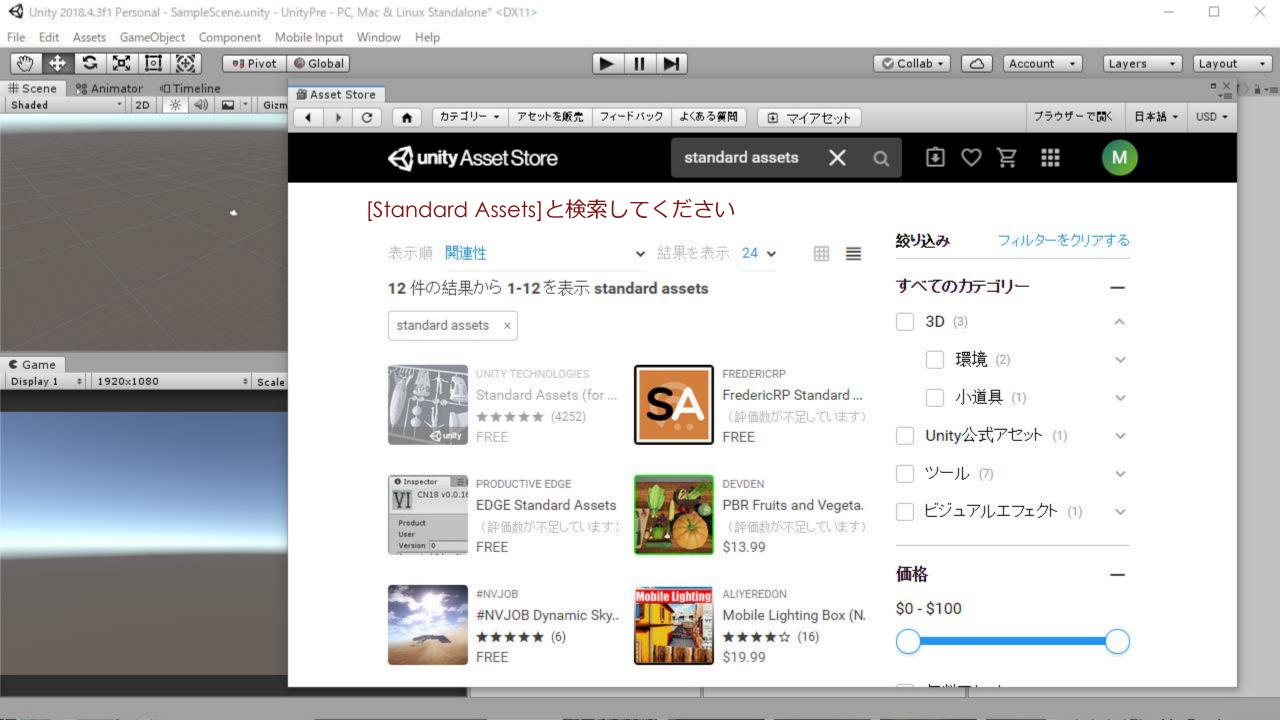
- ▶ こういった画面になっているか と思います。
- ▶ もしこうなっていない場合は、 右上のLayoutボタンをクリック して2by3という項目を選んでく ださい。
- ▶ この画面になるはずです。



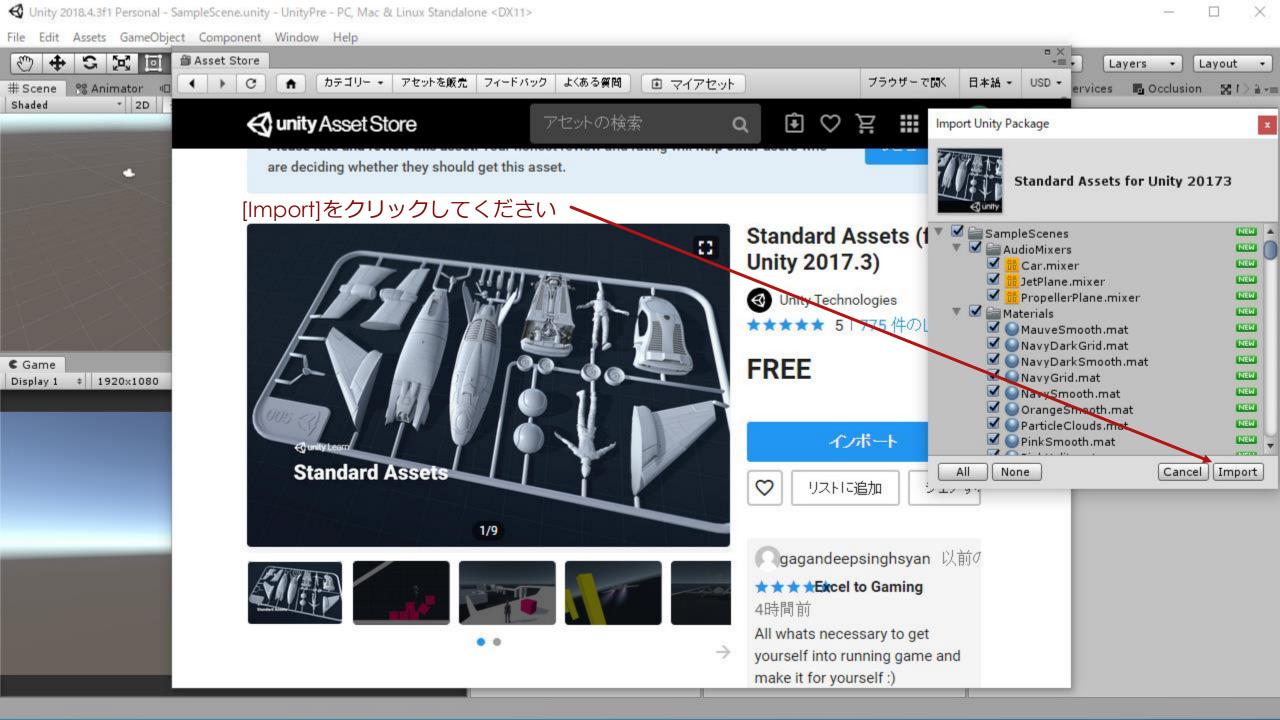


- ▶ プロジェクトが作成できましたら、Windowタブから AssetStoreを選択します
- ▶ AssetSotreにはデザイナーさんが作成した3Dモデルやイラスト、エンジニアさんが作成したUnityでも使えるプラグイン等が多数あります
- 無償から有料まで様々なアセットがありますので作品作りに活用してみてください

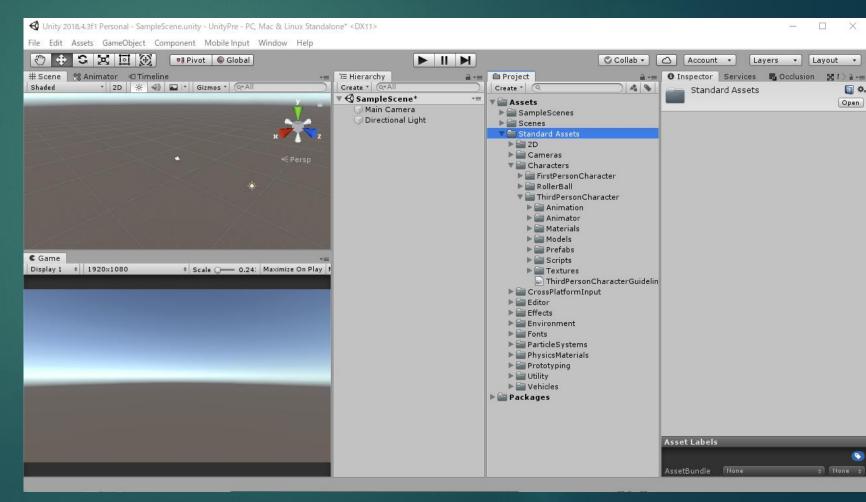




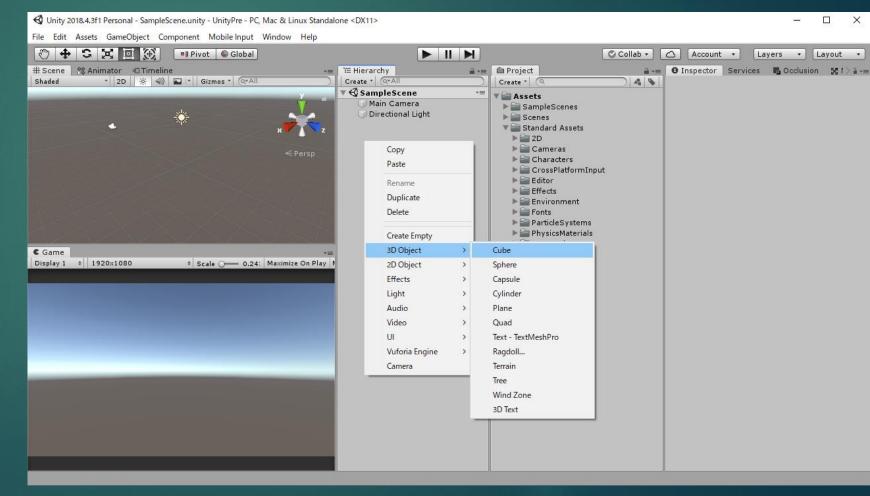




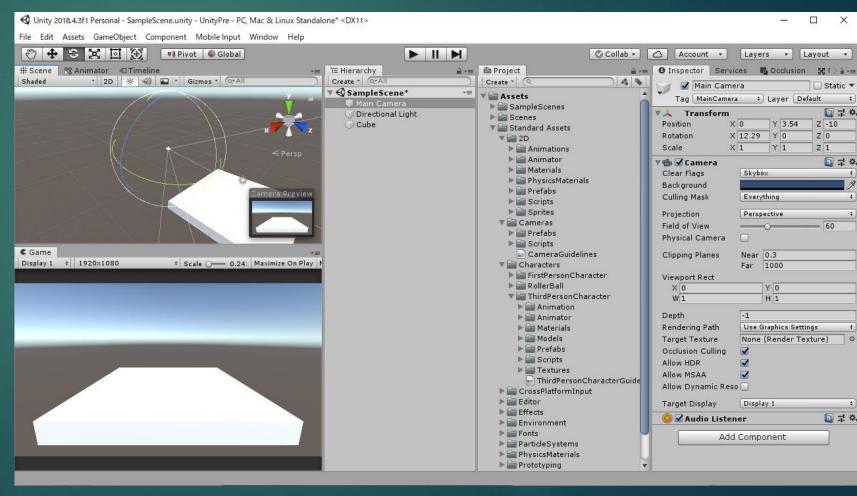
- ► StandardAssetsをインポートできましたでしょうか
- 右のような画面でフォルダの構成が表示されていれば成功です。
- ▶ StandardAssetsの中には3Dモデルキャラクターや2Dのキャラクター等、基本的なアセット等が含まれております



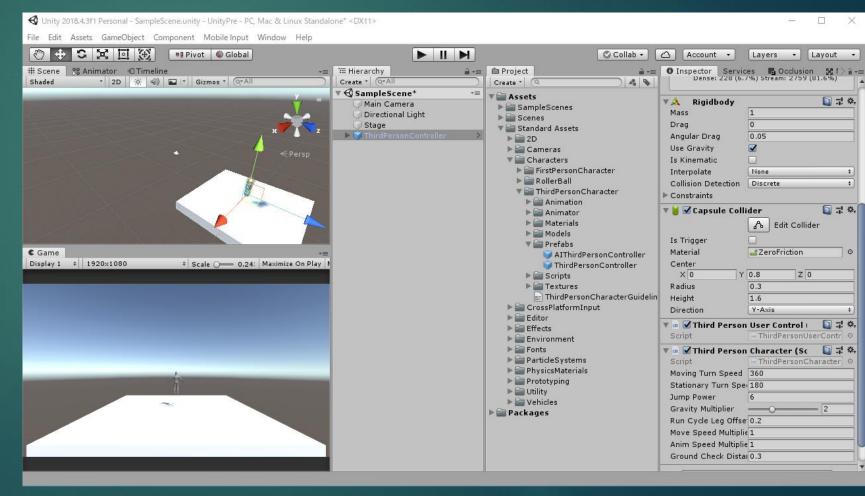
- ▶ キャラクターを配置するステージを作りましょう
- ► [Hierarchy欄]にて右クリックから[3DObject]→[Cube]をクリックします
- SceneView、GameViewに白い Boxが作成されたら成功です



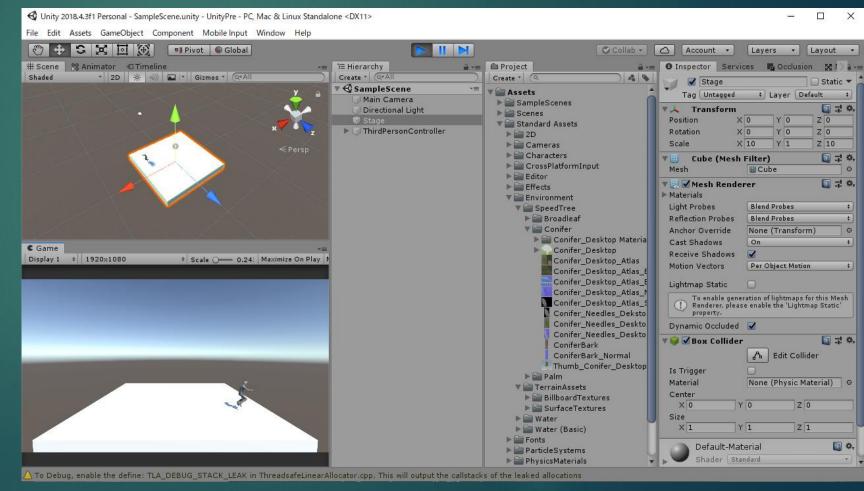
- ▶ GameViewにはStageを真横から見たカメラの映像が映されているので、カメラの位置を調整します
- ▶ 今度はSceneViewでカメラを調整してみましょう
- ▶ SceneViewでカメラをクリック してみると矢印が出るかと思い ます
- ▶ Y軸の矢印を選択し、マウスの左 クリックで上にドラッグしま しょう
- ▶ キーボードの[E]を押して回転で きるようにしましょう



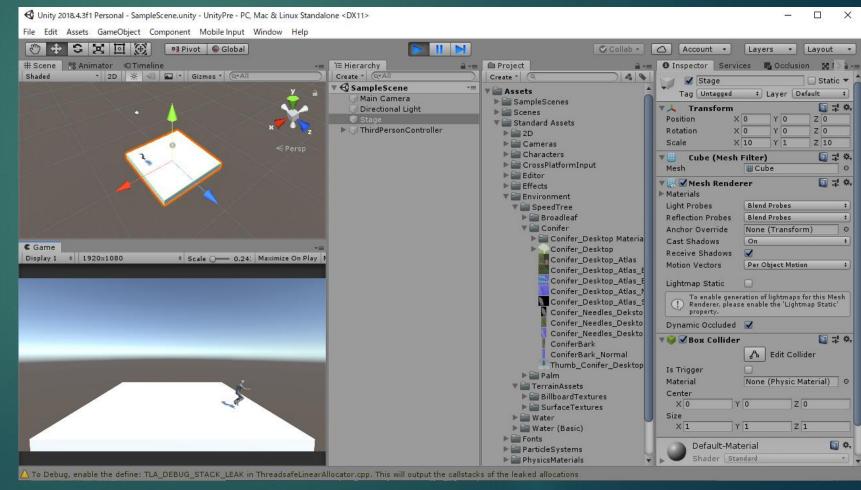
- ▶ いよいよキャラクターを配置しましょう
- ▶ StandardAssetsの中から Characters/ThirdPersonChara cter/Prefabs/ThirdPerControll erのPrefabをHierarchy上に持っ てきましょう
- ▶ Prefabとはモデルや画像等を Unityで使いやすくしたUnity独 自の形式のファイルです
- ► 右図のように青いボックスのア イコンで表示されます



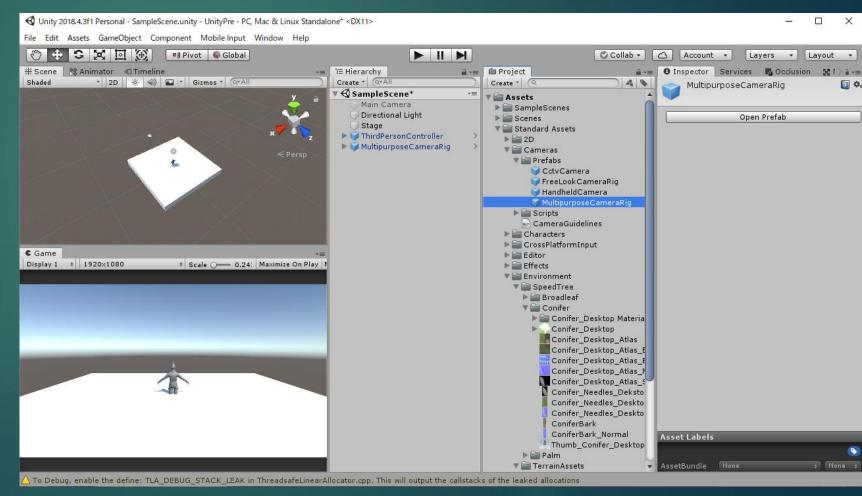
- ▶ ゲームを実行してみましょう
- ▶ 実行とは[再生ボタン]を押して ゲームの実際の流れを再生する ことです
- ▶ 配置したPrefabが地面に降り、 待機のモーションが流れている と思います
- ▶ キーボードの入力をしてみてく ださい
- ▶ ←→↑↓のキーで移動し、 Spaceキーを押すとジャンプで きるはずです



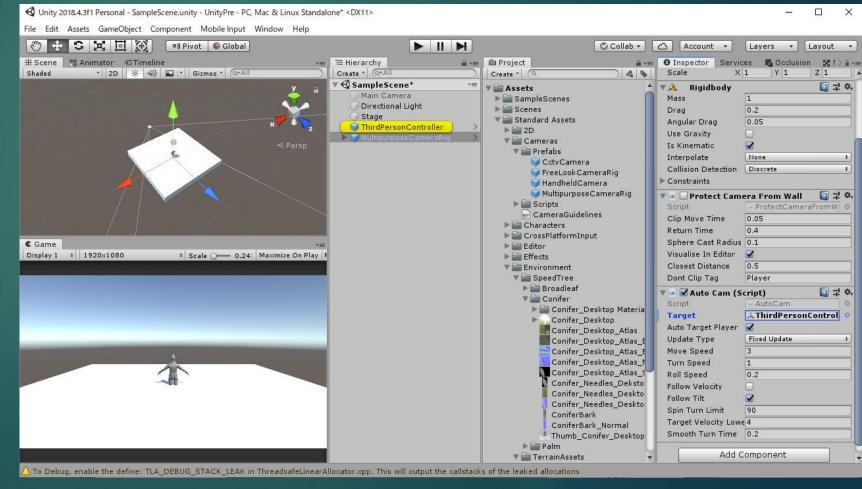
- ▶ このように、Unityではキャラクターを動かすときの基本的な処理はStandardAssetsを使うと、比較的簡単に実装できます
- ▶ 講座では最終的に自分で作った モデルを動かして一つのゲーム にしていきます
- Vroidで作成する3Dモデルの作り方等もお伝えしていきます。



- ▶ カメラの追従もStandardAssets の中に入っていますので、実装 することは容易です
- ▶ StandardAssets/Cameras/Pref abs/MultipurposeCameraRigを Hierarchy欄にD&D[ドラッグ ア ンドドロップ]しましょう
- ► Hierarchy欄のMainCameraを選んだら、Inspector欄の☑ボックスを押してチェックを外してください



- ▶ Hierarchy欄の MultipurposeCameraRigを選択 し、Inspector欄に表示されてい るAuto Cam(Script)のTargetに、 同じくHierarchy欄の ThirdPersonControllerをD&Dします
- ▶ 実行してみましょう
- キャラクターの移動に合わせて 背中が見える状態でカメラが移 動すればOKです



Unity Pre講座 今後の予定

- ▶ 企画職を目指される方、プランナー志望の方は企画書の添削を行います。
- ▶ 授業ではUnityの基本操作を学びながら、企画書の書き方などをお伝えしていきます。
- ▶ また、並行してプログラムの基礎なども習熟していただく予定です。
- ▶ プログラマー志望の方は、どの本でも良いので書籍を購入して一度やってみてください。
- オススメは和尚本と言われている本です。
- ▶ 授業ではしっかりとプログラムの基礎をメインに習熟していただく予定です。
- ▶ また、ここにおられる方はSlackに招待いたしますので、後でアプリをいれておいてください。
- ▶ 学校からの連絡とは別に、先生からお伝えしたいことや宿題のことなどをそこに書いていこうと思っております。